

食道癌（術前・術後） F P 療法 (800/80)

患者ID : @PATIENTID

RT : 無

コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Doc	\$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日間 2回治療予定

使用基準: class A

指示1: 尿量測定 毎日
指示2: 体重測定 毎日起床時
指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv
Day1 開始から21時(約10時間)の尿量 ≤ 800mL
Day2 治療開始より24時間までの尿量 ≤ 2000mL
Day3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量 ≤ 1500mL
化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意: Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること
《使用薬剤》

シスプラチン; (CDDP): シスプラチン注 (50mg/100mL/V、10mg/20mL/V)

フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	#VALUE!		1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	#VALUE!		1~5

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1 10月28日 (水) ※CVポートより投与の場合は

コアレスニードルセットにセイフTポートを接続して投与開始

時刻	薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
0時00分	①	生理食塩液 500mL 2時間で点滴静注			
1時15分	内服	アプレピタントカプセル 125mg 1×(1)			
2時00分	②	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 9.9mg 15分で点滴静注			
2時15分	③	生理食塩液 700mL + シスプラチン 2時間で点滴静注		0mg	0.0mL
4時15分	④	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル 12時間で点滴静注		0mg	0.0mL
6時15分	④'	生理食塩液 500mL 2時間で点滴静注 (側管から④と同時に開始)			
6時15分	⑤	ソリタT3号 500mL 2時間で点滴静注 (側管から④'終了後より開始)			
16時15分	⑥	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル 12時間で点滴静注		0mg	0.0mL

Day2~5 10月29日 (木) ~ 11月1日 (日)

起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

時刻	薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
22時00分	①	生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg 15分で点滴静注 (側管から開始)			
22時15分	②	生理食塩液 500mL × 3 6時間(2時間×3)で点滴静注 (側管から①終了後より開始)			
4時15分	③	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル 12時間で点滴静注		0mg	0.0mL
16時15分	④	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル 12時間で点滴静注		0mg	0.0mL

Day6 11月2日 (月) (Day5 ④終了直後)

時刻	薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
4時15分	①	生理食塩液 50mL フラッシュ (側管から投与)			

REFERENCE

Nobutoshi Ando, Toshifumi Iizuka, Hiroko Ide, et al
Surgery Plus Chemotherapy Compared With Surgery Alone for Localized Squamous Cell Carcinoma of the Thoracic Esophagus: A Japan Clinical Oncology Group Study-JCOG9204. J Clin Oncol 21:4592-4596, 2003
第10回化学療法プロトコール審査委員会承認: 2009年10月28日 更新: 2016年7月14日